

日本海のミネラル豊富な牧草地

活用事例

日本海の北端に面するJA北宗谷エリアでは、海風を受けてミネラル豊富な牧草地帯が広がります。

JA
紹介

『JA北宗谷』は平成21年3月にJA沼川、JA豊富町の2JAが合併し誕生しました。エリアは日本海の北端に面しており、海風を受けてミネラル豊富な牧草地帯が広がっています。JA北宗谷は、『120億円農業の確立～ゆとりある地域農業～』を目指す農業のテーマを掲げています。豊富な草資源を活用した草地型酪農を基本に『生産性の向上と効率化』『コスト低減と所

得確保』『後継者・担い手の育成』『安全・安心な農畜産物の生産・提供』『組合員との相談機能の高度化』等に組合員・JAが一体となり、積極的に取り組んでいます。次世代へ自信をもって継承できる『ゆとりと魅力ある農業経営』、消費者にも『安全・安心な主産地』として信頼される地域農業の構築に向け、組合員・JAが想いを1つに取り組んでいます。

職員
紹介

JA北宗谷では平成29年度よりJA北海道税務支援システムを導入しており、営農課が組合員の税務申告をサポートする主管部署になります。導入時の担当者であった振興課相馬課長(当時:営農課係長)と現在の担当課長である営農課三上課長にお話を伺いました。

※JA北宗谷では『Web 農業簿記』『Web 確定申告』『Web 家畜台帳』を導入頂いています



営農課 三上課長



振興課 相馬課長

導入の背景

JA北宗谷では青色申告会が中心となり、組合員の税務申告をサポートしています。JAは事務局だけではなく、取引の整理・減価償却・個体管理などの支援を行っていました。組合員は主に「自身で税理士事務所と顧問契約する」または「青色申告会で支援を受けて税務申告をする」の2パターンから選択をしており、100名を超える組合員が後者を選択していました。100名を超える組合員の対応を行うためJA職員2～3名、パート職員2名の計4～5名の体制をとっていました。

組合員とJA職員が共有する取引の整理・減価償却の管理(固定資産の管理)・家畜台帳の管理(出生・異動・死亡など)は独自 Excel で管理していました。関係団体が提供している個人情報やJAが独自で構築しているシステムのデータを取り込むなど、非常に使い勝手が良いものでした。しかしながら、いくつかの懸念を抱えていたことも事実でした。

1つ目は独自 Excel の維持管理です。独自 Excel はある組

税務支援システムを導入した理由

合員とJA職員が構築したものです。構築に携わったJA職員は既に退職し、携わった組合員にいつまでも頼っているわけにはいきません。そのため今までとは異なる維持管理方法が必要だと考えていました。

2つ目は税務申告の繁忙期が12～3月に集中することです。この時期はクミカンの精算、営農計画の立案、JAの決算月など様々な業務と重複する時期であり、組合員への巡回もできません。他業務との兼ね合いも考え、税務申告のサポートに必要な作業、人員の軽減ができないかとも考えていました。

また税務調査の対応に不安を感じる組合員が存在していました。そのような状況の中、JAと顧問契約していた税理士法人松井一晃事務所(以下、松井一晃事務所)から税務支援システムのこと、記帳代行のことを伺い、運用体制の見直しと併せてシステム導入を決めました。

導入作業

システム導入に作業はつきものです。導入時の作業について科目設定等は松井一晃事務所に対応頂き、JAでは家畜台帳の移行を行いました。元々、家畜台帳の管理を行っていたため、必要な情報は揃っていましたので、必要なデータフォーマットに変換する作業を行いました。データが揃っていたとはいえ、1戸1戸のデータを確認しながらの作業となったこと、日常業

家畜台帳の移行対応

務対応の間を縫っての作業であったため、大変苦労しました。個体に係る出生、異動など家畜台帳に必要な情報を一から集めるとなると、もっと苦労したと思います。Web家畜台帳を導入する際は、個人情報の有無が1つのポイントになります。個体に係るデータは他のJAでも保有していると思いますので、そのデータを流用すれば、導入作業の軽減になると思います。

導入メリット

人員の削減を実現

今まではJAが取引の整理・減価償却・個体管理などを支援していました。システム導入後は松井一晃事務所に記帳代行という立場で関与して頂き、主に次のような役割分担に変えました。

- 組合員
JAへ税務申告に必要なクミカン外取引の情報提供
- JA
組合員対応の窓口、個体管理の対応 (Web 家畜台帳)
- 松井一晃事務所
記帳代行、税務申告、税務調査のサポート

運用体制の変更に伴い、組合員の費用負担が多少なり増えました。しかしながら単式簿記から複式簿記へ移行し、65万円の控除を受けられること、税理士のサポートが受けられると

いったメリットがありますので、多くの組合員に理解を頂けました。

最大のメリットはJAの事務作業が軽減できたことにあります。システム導入前は4~5人体制でしたが、導入後は繁忙期でも職員1名とパート1名で対応ができるようになりました。この1名の職員は日常的に家畜台帳の登録も行っています。家畜台帳以外にも日常的な組合員対応がありますが、負担になっているとは感じません。

JA作業の軽減が図れたことで、他業務に労力を注ぐことができ、運用体制を変えて良かったと感じます。またシステムの維持管理が不要になったことも人員削減を図れる要因になりました。問合せについてもソリマチ、情報センターに対応頂いています。

今後の活用

蓄積された申告データの可能性

稼動して1年しか経過しておらず、1年分の申告データしかありません。そのため税務申告以外での活用はしていません。複数年のデータが蓄積していけば税務申告のデータを活用した経営管理など、組合員にとって有益な活用方法の可能性があるとと思っています。またデータ活用については情報センターに期待したい部分もあります。情報センターは様々なJAの対応をしていることもあり、データ活用における提案をして頂きたいと考えます。

▼Web 家畜台帳 個体台帳明細画面

▼Web 家畜台帳 出生カード画面

税理士からのコメント

JA北宗谷のサポートを行っている松井一晃事務所の所属税理士である平田税理士にもお話を伺いました。



税理士法人松井一晃事務所
所属税理士 平田税理士

組合員の税務申告については記帳代行という立場でサポートをさせて頂いています。システムを使用することで入力作業の軽減が図れています。

クミカン取引は毎月、システムに連携して、予め設定している科目情報に基づいて仕訳がされます。クミカン外取引の情報を2ヶ月に1度のペースで頂き、2人体制でシステム入力を行っています。多くの取引がクミカンを使用しており、クミカン取引だけの組合員もいます。組合員・JAの問合せにもシステムを活用することで、スムーズな対応ができており、私は決算内容について、細部の確認と総合的な判断を行っています。

組合員の税務申告におけるサポートは記帳代行だけをすれば良いというものではありません。JA北宗谷のサポートを始めて1年しか経過していませんが、税務申告後に組合員、JAと次年度に向けた改善について協議する機会を設けています。税務申告上の留意点や運用方法の改善など組合員、JAの負担を軽減するためにはどうしていくのかということに焦点を当て、システムをより有効活用していきたいと考えています。



株式会社 JA北海道情報センター

URL:<http://www.jahokkaido-cnt.jp/>